

◆森林そ生緊急対策事業費補助金について

説明 林業の成長産業化を図るため、高性能林業機械等を導入する事業者等へ経費の支援を行うことを目的としている。

問 環境問題で地元住民から苦情の出ている事業所も交付先に含まれているが、今回、補助金を交付することは適正な予算計上と言えないのではないか。

答 今回の補助金については、生産性の向上と業務効率化ということでご理解いただきたいが、組織の運営に関しては、コンプライアンスの徹底を強く求められており、補助申請の審査についても厳しく対応している。また、地元住民からの苦情については、事業所立地後、ほこりや騒音などが問題となっているようであり、全ての問題解決には至っていないようである。この事業所においては、解決に向け努力されていると聞いており、市としては結論を待っている状況である

が、出来る限り早い問題解決を引き続き要請したいと考えている。

意見 このような事業所への補助金交付については、問題解決に向けた取組みを最優先とすることを強く求め、解消に至らないようであれば、補助金交付の執行を一時停止するなど、適正な予算執行をお願いしたい。

◆多面的機能支払交付金事業について

説明 近年、農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下



多面的機能の維持等を図っている地域(脈川町予子林)

により地域の協同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあることから、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の協同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理の推進、構造改革を後押しするものである。

問 対象となる地区の要件及び目的について。

答 対象となるためには、地区で、活動組織または広域活動組織のいずれかを設立する必要がある、これらの組織は、農業者のみまたは農業者及び地域住民、団体などで構成されることが要件とされている。

また、事業地域は中山間地域と平地地域に分類されており、中山間地域については、条件不利地の農業の継続を目的とし、平地地域については、担い手の経営規模の拡大を後押しすることを目的としている。

今後、この制度とともに中山間地域等直接支払制度の取組みを推進し、魅力ある集落づくりを目指したいと考えている。

意見 農地の荒廃が心配さ

れる今日において、非常にありがたい制度であり、今後、このような制度を推奨し、農地保全に取り組んでいただきたい。

◆南予広域イベント事業について

説明 この事業は、平成28年度に本格開催予定の「えひめ南予博覧会(仮称)」に關し、大洲市においても独自に実行委員会を設立し実施体制を整備するものである。

問 この事業の方向性について。

答 まずは、地元事業者の方々に、この博覧会を一つのビジネスチャンスと捉えていただき、自主企画イベントの実施や地元の方々との連携などを図ってもらいたいと考えている。市としては、地元業者を始め広く市民に対する周知に努め、その開催意義への理解を求め、各種イベントの運営や支援、広告宣伝などを効率的に実施し、多くの観光客を誘致したいと考えている。

また、観光バスなどを活用した着地型観光をあさも

やなどと連携し、メニュー化することで、歴史観光資源の活用や市郊外へも多くの観光客が訪れるよう、市全体での観光戦略を図っていきたいと考えている。

意見 イベントの実施にあたっては、一過性で終わることなく、今後の大洲市観光行政のさらなる発展となるよう、また、一部団体への委託のみにとどまらず地元業者や市民の方々と十分連携を図っていただきたい。



大洲まちの駅 あさもや